

わくわく勇気を広げる会

連絡先：
代表理事 土屋 希 (080 - 3928 - 4406)

(注意) A4サイズ・横書き

<活動の様子>



<9月イベント 愛媛新聞掲載>



<12月イベント チラシ>



<アドラー心理学流 辻本氏による講演会>



<12月イベント 愛媛新聞掲載>

事業名 不登校・登校渋りに親はどう関わるのか？

アドラー流 辻本絹代先生を迎えての講演会とこれからに向けて繋げていく二部構成

<目的>

- ・勇気をくじかれている不登校・登校渋りに悩む親御様の心の応援イベントとして、アドラー心理学に基づく親子の関わりと、普段忘れがちな自分を大切にする事に改めて気づいて頂く
- ・過去に不登校を経験された方からの話を聴き、不登校に注目をせず、親目線でない子どもとの関わり方について見直すきっかけ作り

<事業内容>

元不登校だった方、現在不登校に悩む保護者を交えての座談会（イベント）では、悩みや想いを語り、子ども目線の意見を知る事で改めて関わり方について考える機会となりました。「悩んでいるのは私だけではない」という気づきもあり、皆さん最後は笑顔で「少し楽になった。同じように悩む仲間がいる事に勇気づけられました」と語っていました。12月のイベントでは「勇気の心理学」とも言われるアドラー心理学に基づいた辻本氏によるお話と、元不登校の方、塾の先生と親御様のディスカッションで、子どもの進学や学校・社会との関わりにも触れ、今保護者が悩み・抱えている問題に多くの方が共感し、涙する場面もありましたが最後は「前向きになれた。実践していきたい」と言われていました。

<市民の参画や他団体との連携>

多団体・専門機関（市外も含む）との意見・情報交換、チラシやポスター配布（市内小中高等学校・スーパー・施設・企業・学習塾等）、情報誌・新聞記事掲載

<市民に対するPR>

不登校・登校渋りに悩み、子どもや自分を責めても何も変わりません。子どもを変えるのではなく子どもを信じ、自分を見つめ直す事から始まります。私達は日常で実践しやすいアドラー心理学に基づいた関わり方をお伝えし、悩める親御様のサポートを行っています。いつでもご連絡をお待ちしています。

(注意) ご提出いただいた後、修正をお願いすることがありますので、その際には、ご協力をお願いします。